

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 田邊 裕彦	電話番号	0852-22-5132
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	(株) 島根県食肉公社施設整備事業		
目的	(1) 対象	株式会社島根県食肉公社	
	(2) 意図	設立後初の大規模改修となる株式会社島根県食肉公社の施設整備を支援し、高度な衛生管理体制の構築と経営体質強化により畜産振興拠点として機能強化を図る。	
事業概要	県民への食の安定供給と、畜産振興に重要な（県内唯一のと畜施設）である株式会社島根県食肉公社の設備老朽化に伴う整備支援。 事業期間：平成25～27年（総事業費13億） H26年度の主な改修施設：枝肉冷蔵設備、洗浄消毒用急騰設備等		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	処理能力の向上	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義	年間と畜頭数（豚頭数+牛頭数×4）/240日	目標値		415.00	415.00	400.80	400.80	頭
			実績値	408.30	412.90	402.80	408.65		
			達成率		99.50	97.10	102.00		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	353,164	437,555
うち一般財源(千円)	223,898	352,368

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

年間と畜頭数は、豚の処理頭数の増加により目標値を上回る結果となった。しかし、牛は素牛不足等により計画を下回っていることから、荷受け団体等と連携し集荷の確保に努める。  
 と畜頭数 豚 H25 (80, 761頭) ⇒ H26 (82, 971頭) 2, 210頭増  
 牛 H25 ( 3, 977頭) ⇒ H26 ( 3, 776頭) 201頭減

6. 成果があったこと（改善されたこと）

施設整備を着実に進め、処理能力向上を図られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
と畜頭数の安定的な確保による経営体質強化
- ②困っている状況が発生している「原因」  
牛のと畜頭数の減少。
- ③原因を解消するための「課題」  
牛・豚ともに大規模農場からの集荷拡大を図る。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

公社整備事業を着実に進めること。  
荷受け団体と連携し、集荷拡大に努める。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状」→「6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状」→「7. まだ残っている課題」→「8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）